

ぶんかざいまるちなび

No.52

文化財 知 ナビ

このニュースレターは、「文化財に親しむ機会の提供に関する事業」の一つとして、身近な文化財情報をはじめ、文化財を活用した事業などの紹介を行っています。
ぜひ学校教育や生涯学習の場で広くご活用ください。

文化財を^{まも}っていきましょう！

「文化財」とは、長い歴史の中で生まれ、育まれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な財産のことで、地震や火災等の災害で壊れてしまったり、なくなってしまうと、二度と戻すことができないかけがえのない財産です。



第67回文化財防火デーポスター

《防災訓練の様子》

小樽市総合博物館では、火災発生時の避難誘導、重要物品の搬出、初期消火活動の防災訓練を小樽市消防署と連携して実施しました。

火災予防意識の向上と大切な財産である文化財を末永く守っていく意識を推進しています。

わたしたちは、この文化財を、自分たちの世代において活用するだけでなく、将来の世代に伝えていくことも、とても大切なことです。

そこで、大切な文化財が災害等で被害に遭わないように、耐震対策（地震に備える補強等）をしたり、火災報知器や消火栓等の防火設備を設置しています。

また、災害が起きたときに備えて、避難計画を立てたり避難訓練をしています。

国は毎年1月26日を「文化財防火デー」に定め、文化財を火災、震災その他の災害から守り、文化財愛護への関心を高めるために、全国各地で文化財防災運動を行っています。



重要物品の搬出訓練

消防署員による放水訓練



《防災対策》

北海道を代表する明治洋風建築の一つである重要文化財「旧函館区公会堂」(函館市)では、耐震補強を含む保存修理工事とあわせて、雷から建物を守る避雷針や火災報知器、消火設備等の整備を行っています。



【写真提供：公益財団法人文化財建造物保存技術協会】

かべの中に補強ボードを並べて、地震に強い建物にしました。



【写真提供：公益財団法人文化財建造物保存技術協会】

火災報知器を天井につけて、万が一の火災に備えます。

《震災対策》

日本で最初の西洋式築城法による星形五角形の城郭で、戊辰戦争最後の戦いである箱館戦争の舞台ともなった、特別史跡「五稜郭跡」(函館市)は、堀石垣を保護・保存するため、耐震対策をしながら保存修理を行っています。

一部に現代工法による補強を取り入れ、災害に強い史跡を整備しています。



かいたい解体した石垣の積み石を1石ずつ元の場所に積み直しました。



【写真提供：株式会社空間文化開発機構】

石垣の裏側に排水補強パイプを打ち込んで、地盤を強化しました。